

## 令和3年度第1学期始業式 式辞

校長 高瀬 知郎

2年生219名、3年生233名のみなさん、進級、おめでとうございます。今年の春は、冬がとりわけ厳しかったせいも、桜やこぶし、モクレンなどの花が、いつもより美しく咲き誇っているように感じられました。あの大雪の中でも、木々は、美しく花を咲かせるための準備を着々と進めていたのですね。

新型コロナウイルス感染予防のため、通常の学校生活が送れなくなってから丸1年が経過し、マスクを着用しての学校生活も2年目に入りました。昨年度は入学式後、4月5月と2か月にわたる臨時休校となりましたが、幸いにも令和3年度は、通常に近い学校生活を送ることができそうです。しかし、変異ウイルスの広がりや感染者数の増加等、まだまだ予断を許さない状況が続いています。引き続き、マスクの着用や手指の消毒、三密の回避等、感染防止に努めながら、安全に学校生活を送っていきましょう。

さて、私は富山市の中学校から変わってきたのですが、雄山中学校に来て、自然環境のすばらしいこと、校舎の立派なことにもまず驚きました。これほど立派な校舎と充実した設備を持っている中学校は富山県中探してもないのではないかと思うほどです。町の方々の教育に寄せる期待がどれほど大きいかが窺い知れます。そして、世界遺産にも匹敵するほどの雄大な立山連峰を間近に仰ぎ見る絶好の風景。さらには、4月1日に出会った本校の先生方のすばらしさ。経験豊かな先生、若くてエネルギッシュな先生、生徒思いの情熱あふれる先生、個性豊かで頼もしいたくさんの方々が、今日みなさんを気持ちよく迎えるために、何時間も話し合い、仲良く楽しく働いてくださっていました。

最高の自然環境と校舎設備、そして素敵な教職員。これほど恵まれた教育環境の中で、よい生徒が育たないはずがありません。

富山県のほとんどの学校で校歌に歌われている富山県の象徴立山。その主峰の名をもつ本校は、富山県の中学校の主峰となるべき学校です。名実ともに富山県の最高峰となることを目指し、一人一人が高い志を抱いて、令和3年度、生徒・教職員が力を合わせて、理想の学校づくりに取り組んでいきましょう。